

うちこしりポート



うちこし基安 事務所 〒811-1302 福岡市南区井尻4-3-49(西鉄井尻駅交番前)
TEL092-589-3600 FAX092-589-3636 Eメールuchikoshi@uchikoshi.info サイトhttp://www.uchikoshi.info/

福岡市議会議員(南区)
うちこし 打越 基安

2012年6月号

「震災がれき受け入れ検討要求」を 決議するも、実現には高いハードル

福岡市議会は5月18日、東日本大震災で発生したがれきの受け入れと処理方法を高島市長に求める決議案を賛成多数で可決しました。被災地の復旧・復興には災害廃棄物の処理が急がれますが、福岡市は独自の埋め立て方式もあり、受け入れのハードルが高いのも現実です。

岩手県の現地と 仙台市内の仮設焼却炉を視察

今回の臨時議会に先立って、私・うちこしを含む自民党市議員は5月6、7日に岩手県陸前高田・大船渡及び仙台市内の仮設焼却炉を視察してきました。岩手、宮城両県の災害廃棄物処理の現状ですが、岩手県の災害廃棄物の推計発生量は約43.5万t(県内の一般廃棄物量の約10年分)、宮城県は156.9万t(同約19年分)に上ります。岩手県で焼却処理や埋め立て等の処理に必要な量は183万tで、うち約57万tを広域処理としています。同県内の最終処分場の残余量が少なく、同処分場の整備には約10年かかるからです。宮城県は県内を4ブロックに分けて災害廃棄物の処理を進めています。焼却処理や埋め立ての処理が必要なのは81.5万tに上り、3年以内に処理するという方針に基づき、約34.4万tを広域処理としています。同県は仮設焼却炉を23基設置することにしており、現在10基が稼働し、8月頃までには残りすべて稼働する予定です。今後は県内での処理も加速されそうです。

岩手県で焼却処理や埋め立て等の処理に必要な量は183万tで、うち約57万tを広域処理としています。同県内の最終処分場の残余量が少なく、同処分場の整備には約10年かかるからです。宮城県は県内を4ブロックに分けて災害廃棄物の処理を進めています。焼却処理や埋め立ての処理が必要なのは81.5万tに上り、3年以内に処理するという方針に基づき、約34.4万tを広域処理としています。同県は仮設焼却炉を23基設置することにしており、現在10基が稼働し、8月頃までには残りすべて稼働する予定です。今後は県内での処理も加速されそうです。

「福岡方式埋立の」カベ、 災害廃棄物処理に

福岡市議会の決議案は、①廃棄



分別した災害廃棄物の山(陸前高田市)



仙台市の災害廃棄物の処理状況の説明を受ける



仮設焼却炉の説明を受ける

物処理の安全基準を示すよう国に働きかける②安全性を確保したうえで廃棄物の受け入れと処理方法を検討することなどを求めています。自民党はじめ各会派の50人が賛成しました。全国の自治体が連携・協力して災害廃棄物を処理しなければ、被災地の復旧・復興が進まないのは当然です。私・うちこしも早期の受け入れ処理を望んでいます。ですが、決議では悩みました。というのも、今回の廃棄物処理は焼却ですが、福岡市が採用している埋め立て方式と馴染まないからです。それは、「福岡方式」と言われ、焼却灰を雨水と空気に接触させることによって分解・安定化を促進させるものです。福岡市の埋立場では、浸み込んだ雨水等が浸出水として流れ出す際に、汚水処理場で有害物質等が除去されます。その後、博多湾へ放流しますが、放射性セシウムは現設備では除去できず、除去できる実用的な技術も確立されていないのです。持ち込む災害廃棄物を安全に償却するための国の目安は、1kg当たり240ベクレル以下のものに限定しています。こういった安全基準をさらに明確にして安全性を確保した上で、廃棄物処理方法を検討していきたいと考えております。

「住むことが防衛」という現実を

直視することから始まる

石原新太郎・東京都知事の「尖閣諸島を都が買う」発言で、領土・領海と防衛問題がクローズアップされました。私・うちこしは昨年7月(9・11日)に日本会議地方議員連盟の一員として、『石垣・与那国研修視察団』に参加し、国境に面して暮らす島民の皆様の危機感に触れ、領土・領海問題への取り組みに心を新たにいたしました。

10億円に迫る寄付金が 国民の意志の強さを物語る

石原知事発言を受け、猪瀬副知事が「全国から寄付金を募りたい」と呼びかけると、5月25日時点で、6万4605件、総額9億1246万円と10億円に迫って

います。購入予定額の約20億円を賄えそうな勢いで、国民の皆様に関心の高さと強い意思を如実に物語っております。私・うちこしも少額ではありますが、協力しております。

尖閣諸島は1885年以降、日本が何度も現地調査を行った結果、無人島であり、中国・清朝の支配下にもないと確認。1895年1月14日、現地に標識を建て、日本の領土に編入することを閣議決定しました。その後、八女出身の実業家、古賀辰四郎氏が入植してカツオ節の製造などを行い、一時は280人余りの島民が暮らしていました。先の大戦で事業中止となり、1940年に無人島になりました。

戦後は沖縄の一部としてアメリカの施政下に置かれましたが、71年に結ばれた沖縄返還協定で日本に返還されました。中国と台湾が領有権を主張し始めたのは、国連アジア極東経済委員会による1968年の調査で、同諸島付近の海底に石油や天然ガスなどの大量地下資源埋蔵の可能性が確認されたからです。両国の漁船や中国の海洋調査船等の領海侵犯事件が起きており、2010年9月、違法操業していた中国漁船が取締りを実施した海上保安庁の巡視船に体当たりした「中国漁船衝突事件」は記憶に新しいところです。日本政府の対応はお粗末で、海上保安官が撮影していた衝突時の動画がYouTube上に流出して物議をかもしました。

固定資産税課税などの実地調査で上陸許可を政府に要望

昨年、購入予定額の約20億円を賄えそうな勢いで、国民の皆様に関心の高さと強い意思を如実に物語っております。私・うちこしも少額ではありますが、協力しております。

尖閣諸島は1885年以降、日本が何度も現地調査を行った結果、無人島であり、中国・清朝の支配下にもないと確認。1895年1月14日、現地に標識を建て、日本の領土に編入することを閣議決定しました。その後、八女出身の実業家、古賀辰四郎氏が入植してカツオ節の製造などを行い、一時は280人余りの島民が暮らしていました。先の大戦で事業中止となり、1940年に無人島になりました。

昨年、購入予定額の約20億円を賄えそうな勢いで、国民の皆様に関心の高さと強い意思を如実に物語っております。私・うちこしも少額ではありますが、協力しております。

に「命がけの戦いと法の範囲内での対応の苦渋」を感じました。「尖閣事件」で負わされた巡視船「みずき」の傷跡も見ることができました。

石垣市議会は昨年1月14日、「尖閣諸島開拓の碑」を定める条例を制定、尖閣諸島の固定資産税課税などの実地調査を目的とした上陸視察などを全会一致で決議し、上陸許可を政府に要望したのですが、未だに叶っておりません。私たちは石垣市議会の決議を支持し、石垣市長の上陸を速やかに認めるように要望する「石垣市長尖閣上陸を求める議員署名」に取り組み、昨年の面談時に、284議会2865名の署名を中山義隆市長に直接手渡しました。

石垣から西に100km離れた、日本最先端の島である与那国は人口1500人ほどの町です。石垣島より尖閣諸島海域に近く、歴史的には、同海域での漁業が盛んだったと言います。与那国の漁民がここを漁場とすることに、この海域を守り、日本の領海・排他的経済水域を守っていることになりました。

「船で尖閣に行きたい」という私たちの要望は叶いませんでしたが、与那国島の周辺を船で周遊し、尖閣付

近の海の荒れ具合の説明に納得しました。

「住むことが防衛なんですよ」という島民の方の言葉が私・うちこしの頭から離れません。



中山市長(前列中央)と石垣市役所にて、3列目右端が私・うちこしです。



日本最先端の地に立つ



中国漁船体当たり事件で傷を受けた巡視船「みずき」



尖閣諸島が日本領土の色に塗られていなかった(与那国島にある展望台床の地図)

3月定例議会報告

まちづくりの観点から鉄道高架事業を促す！
高齢者の健康増進施設、コミュニティ施策も

私・うちこしりは平成24年3月議会(3月8日)で、自由民主党福岡市議団を代表して質問に立ち、①井尻地区の鉄道高架とまちづくり②高齢者向きの健康増進施設③自治会・町内会への支援、の3点について福岡市の考えを問い質しました。引き続き早期実現を迫ってまいります。

高架化に向けた
スケジュールの早期提示を

質問に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々に黙とうを捧げ、一日も早い復興を祈りました。

まず、井尻地区の鉄道高架については、私・うちこしが議員就任当初から要望しています。訴えたかったことは、井尻地区の住民



が、待たされている状態にあり、高架化に向けたスケジュールを早期に提示することです。そして、鉄道高架事業は拠点性を高め、まちづくりであり、防災の観点からも重要な取り組みです。

また、町内会や商店街の代表者が集まり、「井尻地区まちづくり期成会」を組織し、鉄道高架事業の先進地事例視察などの取り組みが始まり、まちづくりの機運が盛り上がり始めております。

Q 福岡外環状道路などの完成を受け、平成23年度に交通量調査を行っているが、その結果と問題点は？

A 井尻駅周辺の踏切や交差点における交通量調査を行ったが、福岡筑紫野線や井尻駅前線の交通量は減少しているが、井尻駅に隣接している井尻1号踏切は、多くの歩行者や自転車に影響を受けている歩行者ポトルネック踏切に該当している。

Q 平成24年度はどのような調査を行うのか。また、地元で高まっているまちづくりの機運をとらえ、福岡市としてどのように取り組んでいくのか。

A 平成24年度は地域のまちづくり活動への支援を行うとともに、23年度に実施した交通量調査を踏まえながら実現に向けた課題整理を行うなど検討を進めたい。

高島市長も「鉄道高架の必要性がある」と認識

Q 井尻は狭い道路が多く、老朽化した木造家屋が密集しており、地震が起きると被害は甚大

です。防災の観点からも、雑餉隈地区に連続して井尻地区の高架事業に取り組むことで、安全で安心できる生活環境に少しでも近づけるべきです。今後どのように取り組んでいくのか、最後に市長のご意見をお尋ねします。

A (高島市長) 井尻地区においては、踏切による交通混雑、踏切事故の危険性、鉄道による校区分断の解消など解決すべき課題があり、隣接する雑餉隈地区と同様に鉄道高架の必要性があると認識している。

鉄道高架事業は事業規模が大きく、時間がかかる事業であり、現在取り組んでいる雑餉隈地区の鉄道高架事業の進捗状況を踏まえながら、地域におけるまちづくりの取り組みとともに、鉄道高架化の検討を行ってまいります。

高齢者の仲間づくりの機能も持つ
健康増進施設整備を

現在、高齢者数、高齢化率ともに上昇が続いています。いわゆる「団塊の世代」が高齢期を迎えており、健康で元気に活躍する高齢者は今後ますます増え続けていきます。

福岡市は次期「高齢者保健福祉計画」の策定を進めており、「健康で生き生きとした豊かなシニアライフの実現」を掲げ、健康づくり・介護予防事業の推進、就業やボランティア活動等への参加の支援に取り組むことにしています。

健康づくりの場は
コミュニティ形成にも意義

高齢者が自立した生活ができるよう、健康づくり・体力づくりができる場はコミュニティ形成にも有意義です。共通の目標を持った人たちが集まれば、仲間意識が生まれ、知り合いの関係とな

り、運動による高齢者の心身機能の向上を目的とした介護予防特

今年も「どんたく」に参加



新南区長の協方隆哉氏と

最近、マンションのポストに表札も掲げず、だれが住んでいるのかも分からないため、自治会・町内会への加入案内にも苦勞するという声が聞かれます。災害時の地域での助け合いに実効性を持たせるためにも、日ごろの家庭訪問などの見守り活動により、顔が見える、信頼関係を構築することの重要さが求められています。

個人情報保護条例などで住民情報の把握が困難な中、この7月から外国人登録法が廃止されるため、住民の名簿開示が難しくなり、自治会・町内会の活動に支障をきたすことを危惧しています。福岡市は自治会・町内会が実施する地域活動にあたって、対象者を把握するため住民基本台帳を閲覧する場合、一定要件を満たせば閲覧手数料を減免することを24年度から実施していますが、これだけでは不十分です。

また、地域集会所を確保するための支援策についても、建設費や建物の借上げ費用などの補助制度、土地確保のための融資制度など他人任せの制度では、実のあるコミュニティ施策の推進や実効ある地域支援には結びついていません。

コミュニティをまちづくりのパートナーと位置付け、活性化を図る立場から、市有地を地域に積極的に貸し出すなど他都市にも見受けられないような支援策を検討するよう強く要望しました。

自治会・町内会活動を支える
新たなコミュニティ施策を

化型のデイサービスが注目されているそうです。
高齢者向きの健康増進施設の整備が待たれるところですが、福岡市は厳しい財政状況から、新たな施設建設については、実質「ゼロ回答」でした。
このような回答でしたが、私、うちこしは、粘り強く要求を実現していきたいと思っています。

「隣組」の歌詞で、
取り戻せ日本人の心

自治会・町内会を中心役割を担っておられます町内会長さんたちは、「とんとんとんからりと隣組」の歌を歌い継がれてきた世代の方々です。

- 1 とんとんとんからりと隣組 格子を開ければ 顔なじみ 廻して頂戴 回覧板
- 2 とんとんとんからりと隣組 あれこれ面倒 味噌醤油 ご飯の炊き方 垣根越し 教えられたり 教えたり
- 3 とんとんとんからりと隣組 地震や雷 火事どろどろ 互いに役立つ 用心棒 助けられたり 助けたり
- 4 とんとんとんからりと隣組 何軒あろうと 一所帯(ひとじよたい) ころろは一つの 屋根の月 纏(まと)められたり 纏めたり

歌の結びが「知らせられたり 知らせたり」、「教えられたり 教えたり」とまとめられています。人情味のある日本人の心であり、取り戻さなければならぬものとしてこの歌詞を紹介し、質疑を終えました。

満開の桜の下で楽しいひと時

うちこし会のお花見を4月5日(木)、11時から警務署橋近くのホテル公園にて開催いたしました。約100人の方に参加して頂きました。

当日はお天気にも恵まれ、最高のお花見日和でした。満開の桜の下、時には花びらが膝元に舞ってくる中、会話もはずみ、楽しいひと時を過ごすことができました。お食事の後には、エコクイズで盛り上がりました。

たくさんの方にご参加頂き本当に有難うございました。

今年もツバメが戻ってきました

今年も3月の末に2羽のツバメが戻ってきました。5月の初めに小さな鳴声が聞こえ、日に日に声が大きくなりました。

ツバメの巣は一昨年の5月、事務所所玄関真上の軒先に作られたのが最初でした。今年も昨年同様に5羽が生まれました。



3年も続いて、縁起の良いことだと思えます。地域の方も可愛いひな鳥の成長を楽しみに見守って下さっています。元気に育って、巣立ってね。



ご意見およびご要望をお寄せください！

- ご連絡先
- 福岡市議会自由民主党控室
TEL092-711-4722 FAX092-741-4874
- うちこし基安 事務所
福岡市南区井尻 4-3-49 (西鉄井尻駅交番前)
TEL092-589-3600 FAX092-589-3636
Eメール m@uchikoshi.info
サイト <http://www.uchikoshi.info/>
どうぞ、お気軽にお立ち寄りください！

